

2022年4月1日

報道関係各位

GMOグローバルサイン株式会社

企業向け ID 管理・シングルサインオンサービス

「トラスト・ログイン byGMO」

本日 4/1 より「GMO トラスト・ログイン」に名称変更

～料金・機能はそのまま DX セキュリティのスタンダードへ～

GMO インターネットグループの GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社の連結企業群で、電子認証サービスを展開する GMO グローバルサイン株式会社（代表取締役社長：中條 一郎 以下、GMO グローバルサイン）は、本日 2022 年 4 月 1 日（金）より、企業向け ID 管理・シングルサインオンサービス「トラスト・ログイン byGMO」の名称を、「GMO トラスト・ログイン」に変更いたします。

GMO グローバルサインは、「GMO トラスト・ログイン」が企業の DX を支えるセキュリティツールとして重要な役割を果たせるよう、今後も安全なサービスの提供に努めてまいります。



【「GMO トラスト・ログイン」への名称変更について】

新型コロナウイルス感染防止のため、多くの企業が在宅勤務（テレワーク）に取り組み始めてから 2 年ほどが経過しました。働き方にも変化があり、場所に関係なく業務が行えるよう、バックオフィス、法務関連などの業務でもデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）が進み、多くのクラウドサービスが導入されました。

そうした企業単位での DX が進む中、企業が利用するクラウドサービスの数は増加傾向にあり、3 社に 1 社は 4 種類以上の SaaS アプリを日常的に業務利用しているという調査結果も出ています（※1）。利用するサービスが増えるにつれ、業務にあたる社員は複数の ID・パスワードが必要になるのに加え、社内 IT 部署や情報システム部では相当数の社員の ID、パスワードの管理が必要となり、利用するサービスが増えれば増えるほど、その業務は煩雑になっていきます。

一方で、近年、なりすましによる社内システムへの侵入や情報の漏洩などの重大なセキュリティインシデントが多発しており、DX 時代のセキュリティでは、ユーザーの入り口となる ID、パスワード管理を安全に行うことが最も重要なポイントとなりつつあります。ID・パスワード管理をより簡単・セキュアにできるツールとして登場した「トラスト・ログイン byGMO」は、GMO インターネットグループが展開するセキュリティ事業の柱となるべく「GMO トラスト・ログイン」へ名称変更いたします。今後も DX 時代のセキュリティスタンダードとなるべく、より安全なサービスの提供に努めてまいります。

（※1）出典：企業における SaaS アプリの利用状況（2021 年）／前編

URL：<https://kn.itmedia.co.jp/kn/articles/2102/04/news015.html>

【「GMO トラスト・ログイン」サービス概要】

サービス名	GMO トラスト・ログイン (旧称：トラスト・ログイン byGMO)	
ご利用料金	基本機能無料	
基本機能 (無料)	<p>■ シングルサインオン</p> <p>「フォームベース認証」、「SAML 認証」、「Basic 認証」など約 6,200 サービス (※2) に対応</p> <p>■ アクセス制限</p> <p>■ ID 管理</p> <p>企業のシステム管理者が、従業員が利用する業務用アプリケーションの ID・パスワード管理を行える機能です。</p> <p>■ ログ・レポート機能</p> <p>企業のシステム管理者が、従業員のサービス利用状況をレポートとしてリアルタイムで確認できる機能です。パスワードの変更履歴も管理できるため、P マーク (※3) 取得更新時などの監査レポート作成にも利用できます。</p>	
オプション機能 (有料)	<p>■ 外部 IDP 連携 (SAML)</p> <p>■ IP アドレス制限</p> <p>■ (多要素認証) クライアント認証</p> <p>■ プロビジョニング (ID) 連携</p>	<p>■ (多要素認証) ワンタイムパスワード</p> <p>■ Active Directory 連携 (※4)</p> <p>■ SCIM IDP 連携</p> <p>■ パスワードレス (プッシュ通知) 認証</p>
国際規格	情報資産のセキュリティ管理において「ISO27001」認証取得	
申込方法	以下の申込フォームから、必要事項をご入力の上、お申し込みください。 URL : https://portal.trustlogin.com/users/sign_up	

(※2) 2022 年 3 月 28 日時点。

(※3) 一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (JIPDEC) が認定した、個人情報について適切な保護体制を整備している事業者が付与されるロゴマーク。マークを付与された事業者は、事業活動に関してその使用が認められる。

(※4) Microsoft が開発した Windows Server の機能の 1 つで、オンプレミス環境において、ネットワーク上に存在する様々なシステムのユーザー情報や権限などを集約・管理できる仕組み。

【「GlobalSign」とは】

世に電子認証サービスが登場し始めた初期段階の 1996 年にベルギーでサービスの提供を開始し、ヨーロッパで初めて WebTrust を取得した認証局です。ベルギー政府関連機関への数多くの実績を持ち、eID (※5) (BELPIC)をはじめとするベルギー電子政府プロジェクトの最上位認証局である、ベルギー政府認証局への認証を行っています。2006 年に GMO インターネットグループにジョインし、政府レベルのセキュリティを、日本をはじめワールドワイドに販売展開しております。現在では、SSL サーバ証明書をはじめとした 2,500 万枚の電子証明書発行実績と、政府関連機関や大手企業へ多数の納入実績があります。

また、『CABF(CA/Browser Forum)』、『Anti-Phishing Working Group』に参加し、電子証明書市場のリーディングカンパニーとして積極的な活動を行っています。さらに、2018 年 5 月からは、Adobe 社が 2016 年に設立した電子署名業界および学術界の専門家から構成される国際団体「クラウド署名コンソーシアム」に加盟し、国際的な法規制を遵守したクラウド上の電子署名の実施におけるオープンな標準規格の決定に参加しています。

(※5) ベルギーの電子政府プロジェクトの一環として始まった国民 ID カードプロジェクト。12 歳以上のベルギー全国民に対して電子証明書入りの ID カードが配布される。

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社
社長室 広報担当 大月・遠藤
TEL : 03-6415-6100
E-mail : pr@gmogshd.com

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO グローバルサイン株式会社
トラスト・ログイン事業部 中山
TEL : 03-6370-6601
E-mail : support-jp@globalsign.com

- GMO インターネット株式会社
グループコミュニケーション部 寺山
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【GMO グローバルサイン株式会社】 (URL : <https://jp.globalsign.com/>)

会 社 名	GMO グローバルサイン株式会社
所 在 地	東京都渋谷区道玄坂 1-2-3 渋谷フクラス
代 表 者	代表取締役社長 中條 一郎
事 業 内 容	■情報セキュリティ及び電子認証業務事業
資 本 金	3 億 5,664 万円

【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社】 (URL : <https://www.gmogshd.com/>)

会 社 名	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社 (東証第一部 証券コード : 3788)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 青山 満
事 業 内 容	■電子認証・印鑑事業 ■クラウドインフラ事業 ■DX 事業
資 本 金	9 億 1,690 万円

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産 (仮想通貨) 事業
資 本 金	50 億円